



ようこそwamへ

アクティブ・ミュージアム「わたしの戦争と平和資料館」(wam)は、日本で初めて戦時性暴力、とりわけ日本軍性奴隷制(日本軍「慰安婦」制度)に焦点をあてた記憶と活動の拠点として、2005年8月にオープンしました。

wamは、日本軍性奴隷制の責任者を裁いた「女性国際戦犯法廷」(2000年、東京)を立案し、実現に奔走した故松井やよりさんの遺志を受け継ぎ、①ジェンダー正義の視点で戦時性暴力に焦点をあて、②被害と同時に加害責任を明確に、③平和と非暴力の活動の拠点を目指し、④民衆運動として、⑤国境を越えた連帯活動を推進する、という5つの基本理念を持って運営しています。

wamでは特別展やセミナーの開催、調査と記録の保存・公開、連帯活動をとおして、多くの方が戦争と暴力を生き抜いた女性たち一人ひとりの存在と人生に出会い、日本軍性奴隷制の実態と加害責任に向き合ってほしいと願っています。

wamの活動に対して、2007年にはパックス・クリスティ平和賞、2013年には日本平和学会・平和賞が授与されました。暴力と差別のない平和な未来を実現するため、私たちはみなさんとともに歩んでいきます。

## アクティブ・ミュージアム 「わたしの戦争と平和資料館」

開館時間：水～日：13:00～18:00 休館日：月・火・祝日・年末年始

※団体の祝日・時間外のご来館はご相談ください。

※展示入れ替え期間は休館となります。

入館料：18歳以上500円 18歳未満300円 小学生以下無料

※障がいのある方の付き添いは無料です。

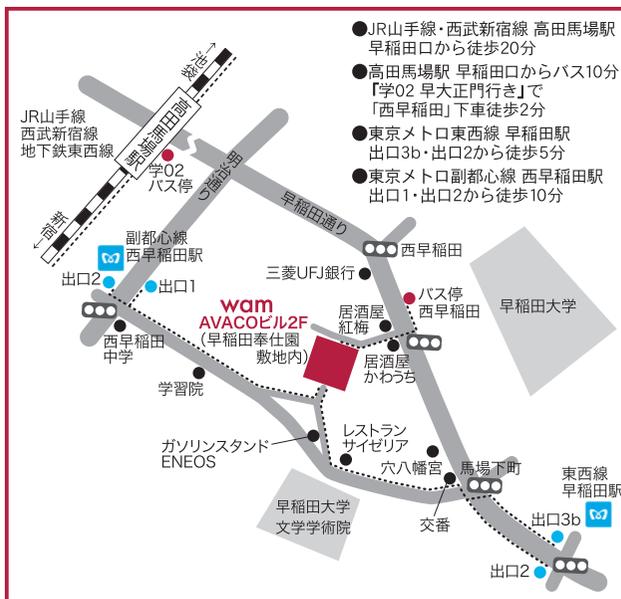
### 会員になりませんか？

●友の会年会費：3,000円 ●維持会員年会費：10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次お知らせします。維持会員は入館料無料、各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号：00110-2-579814

口座名称：「わたしの戦争と平和人権基金」係



# wam

アクティブ・ミュージアム  
わたしの戦争と平和資料館

women's active museum  
on war and peace

アクティブ・ミュージアム「わたしの戦争と平和資料館」は  
NPO法人 わたしの戦争と平和人権基金の事業です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051  
T: 03-3202-4633 F: 03-3202-4634 E: wam@wam-peace.org  
URL: www.wam-peace.org Twitter: @wam\_peace

## アクティブ・ミュージアム 「わたしの戦争と平和資料館」

戦時性暴力の被害と加害を記録し、  
学び、語り合い、行動を起こしていく  
記憶と活動の拠点です。



# wam

# ようこそアクティブ・ミュージアムへ!

WAMは、暴力のない平和な世界をつくるために、戦時性暴力の被害と加害を伝える日本初の資料館です。



## ●沈黙をやぶった女性たち

アジア各国の日本軍による性暴力被害者のポートレートが来館者を迎えます。wamでの名前や写真と被害体験の公開に同意してくれた179名の女性たちです。

## ●松井やより

日本軍性奴隷制の責任者を裁いた「女性国際戦犯法廷」を提案したのは、元朝日新聞記者で女性活動家だった松井やよりさんでした。2002年にがんの告知を受けると、「私たちの戦争と平和資料館」の建設を仲間たちに託して同年死去。その資料と遺産を受け継いだNPO法人私たちの戦争と平和人権基金がwamを運営しています。



## ●展示コーナー

年1~2回のペースで、テーマを絞った特別展を開催(右記参照)。常設展コーナーでは日本軍性奴隷制の責任者のパネルや、アジア全域の慰安所が一目でわかる「慰安所マップ」を展示しています。



日本軍慰安所マップ

## ●特別展

- 第1回 女性国際戦犯法廷のすべて (2005年8月~11月)
- 第2回 松井やより 全仕事 (2005年12月~2006年4月)
- 第3回 置き去りにされた朝鮮人「慰安婦」 (2006年4月~11月)
- 第4回 東ティモール・戦争を生きぬいた女たち—日本軍とインドネシア支配の下で (2006年12月~2007年5月)
- 第5回 中学生のための「慰安婦」展 (2007年6月~2008年5月)
- 第6回 ある日、日本軍がやってきた—中国・戦場での強かんと慰安所 (2008年6月~2009年6月)
- 第7回 証言と沈黙—加害に向き合う元兵士たち (2009年7月~2010年6月)
- 第8回 女性国際戦犯法廷から10年—女たちの声让世界を変える (2010年7月~2011年6月)
- 第9回 フィリピン・立ち上がるロラたち—日本軍に踏みにじられた島々から (2011年7月~2012年6月)
- 第10回 軍隊は女性を守らない—沖縄の日本軍慰安所と米軍の性暴力 (2012年7月~2013年6月)
- 第11回 台湾・「慰安婦」の証言—日本人にされた阿媽(アマー)たち (2013年7月~2014年6月)
- 第12回 中学生のための「慰安婦」展+ (2014年7月~2015年6月)
- 緊急ミニ企画展 徹底検証! 読売「慰安婦」報道 (2014年11月~2015年6月)
- 第13回 「アジア解放」の美名のもとに—インドネシア・日本軍占領下での性暴力 (2015年7月~2016年6月)
- 第14回 地獄の戦場・ビルマの日本軍慰安所—文玉珠さんの足跡をたどって (2016年7月~2017年7月)
- 第15回 日本軍「慰安婦」の沈黙—国家に管理された性 (2017年8月~2019年2月)
- 第16回 朝鮮人「慰安婦」の声をさく—日本の植民地支配責任を果たすために (2019年3月~2020年3月)



## ●資料閲覧コーナー

日本軍「慰安婦」問題や戦時性暴力に関する書籍、雑誌、映像などが閲覧できます。日本軍「慰安婦」裁判資料、支援団体のミニコミ、軍関連公文書がほぼ揃っているのもwamだけ。松井やよりさんが書いたすべての記事や論文を収めたファイルも必見です。

wamでは展示の他にも、様々な活動を行っています

## ●セミナー・シンポジウム

シンポジウム、セミナー、wam de video(映像上映と制作者・関係者のトーク)、wam de cafe(カフェスタイルで様々なテーマをめぐって語り合う)など、日本軍「慰安婦」制度をより深く理解するため、または女性や人権に関するその時々のできごとを学ぶイベントを開催しています。



## ●調査・出版・アーカイブズ

特別展パネルはすべてカタログとして刊行、『wamだより』では「慰安婦」問題をめぐる動きを伝えています。また「日本軍慰安所マップ」の追加・更新のための資料調査、そして「日本軍「慰安婦」アーカイブズ」を未来に残すために証言記録などの調査、保存、記録化、デジタル化なども実施しています。



## ●連帯行動

日本政府や日本社会が日本軍性奴隷制の事実を認めるように、国内外の支援団体と連帯して行動しています。また、アジア各地の「日本軍「慰安婦」博物館」や、女性、平和、人権をキーワードにした国内外ミュージアムとのネットワークに参加し、連携を深めています。米軍基地や武力紛争下の性暴力など、軍隊による暴力をなくすための連帯行動にも参加しています。

